

2021年 年頭所感「変化に適応する」

一般社団法人日本オーディオ協会 会長 小川理子

明けましておめでとうございます。

旧年中は日本オーディオ協会に格別なるご高承を賜り、心より感謝を申し上げます。

1年前には想像もできなかったことですが、昨年春先から世界レベルでコロナ感染拡大が続き、第2波、第3波と、まだまだ落ち着く気配がありません。本年は、コロナ対策と経済活動の両立に向けて、様々な施策が引き続き実行されていくと思いますが、オーディオ協会におきましてもこの観点から新しい取り組みに挑戦してまいります。

昨年のホームステイの期間中は、たぶん多くの皆様方が、家の中での時間の過ごし方がこれまでとは全然違った、と実感されたことと思います。私もその一人で、ネット配信で様々なコンテンツを楽しみ、新たな音楽、新たな演奏家との出会いがたくさんありました。オーディオビジュアル関連の機器では、巣籠もり需要もありました。そういった意味では、オーディオ協会として、ニューノーマルに向けた新しい提案にも思いを馳せることができました。

一方で、コンサートやライブなどのリアルなイベントが制限され、演奏家の方々やご関連の方々が大変なご苦勞をされています。オンラインライブも徐々に広がりつつはありますが、生の臨場感を味わいたい、というお客様にはまだまだ戻っていただけていない状況が続いております。

リアルなイベントということでは、オーディオ協会が主催する「音展」も、昨年は中止となり、今後も制作運営面で工夫を重ねてまいります。

世界に目を転じれば、変化のスピードや様々なイノベーション、政治経済の不透明さも相まって、私たちを取り巻く環境は決して安泰とは言えませんが、日本はこれまで蓄積されてきた技術や知見を活かし、独自のきめ細やかな感性で探求し、変化に適応し、持続可能な社会を実現していく可能性は無限にあると思います。オーディオ協会も挑戦し続けてまいります。

今年度も、ご支援ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。